

ヨルダンが誇る世界文化遺産地域の
持続可能な観光開発プロジェクト



ペトラ遺跡

執筆者：中小路 晴香

執筆者の所属：独立行政法人国際協力機構

経済開発部民間セクター開発グループ第二チーム

事業名：ペトラにおける観光開発マスター

プラン策定プロジェクト

国名：ヨルダン・ハシェミット王国



実施機関幹部の日本招へい(京焼窯元での陶芸体験)

ヨルダン最大の観光地における課題

ペトラは、ヨルダンが誇る世界遺産の一つであり、同国最大の観光地であるが、遺跡以外の観光資源や商業施設などの整備が不十分なため、観光客の滞在時間が短く、観光客一人当たりの消費額が少ない状況であった。これを受け、JICAはペトラ博物館の建設や開館支援、コミュニティ参加型の持続的な観光/地域開発支援を行ってきた。一方、依然として観光の競争力と持続可能な観光開発に向けた制度環境の弱さ、地域経済に直接的に恩恵をもたらすような観光商品の不足、ホスピタリティサービスの低さ、地域コミュニティ間に裨益する観光収入の格差、オーバーツーリズムの可能性、加えて感染症や雨季の洪水といった観光業に悪影響を及ぼす災害等の課題に直面している。これらの課題を解決するためには、ペトラ地域の観光開発を持続的に発展させるための指標を定め、当該指標に基づく行動計画等を取り纏めたマスタープランを作成することが重要であるが、同地域実施機関であるペトラ観光開発庁による、マスタープラン作成能力の強化が課題となっている。



無償資金協力を通じて建設したペトラ博物館



実施機関及び周辺地域関係者との会合

事業の概要

このような課題を踏まえ、地域の実情にあった計画とすべく、複数のパイロット・プロジェクト（実証実験）を行い、その結果検証を通してペトラ地域における観光地管理、人材育成、観光商品開発だけでなく、感染症や災害に対する強靭性（レジリエンス）の強化、ユニバーサルツーリズム等も含めて、総合的なマスタープランを作成することで、当地域における強靭かつ持続可能な観光開発事業の促進を当事業で目指す。

(1) 第一期（2021年3月～）

ペトラ遺跡公園及び周辺地域を対象としたベースライン調査を実施し、ペトラ観光地におけるポテンシャルや課題の整理を行った。加えて、ペトラ観光開発庁等現地関係機関との協議や周辺地域関係者を対象とした会合を実施し、ペトラ地域における観光開発マスタープラン案の作成やパイロット・プロジェクトの選定を行った。

(2) 第二期（2022年11月～）

第一期で選定したパイロット・プロジェクトを実施・検証を行い、マスタープラン案の最終化を行う。作成したマスタープランは、ヨルダン他地域及び周辺国にも紹介することを計画している。加えて、実施機関幹部の日本招へいや職員の本邦研修を行い、当事業の理解促進、実施機関の能力強化を目指す。



民間事業者を対象にした研修の実施（パイロット・プロジェクト）

これまでの支援とこれから

JICAはこれまで、博物館を建設するための無償資金協力「ペトラ博物館建設計画」（2013年～2020年）や、同博物館の開館支援や住民参加型の地域／観光開発のための技術協力「コミュニティ重視型のペトラ地域観光開発プロジェクト」（2015年～2020年）を実施してきた。2019年に同博物館が開館し、ペトラの観光地としての魅力向上に貢献してきたが、世界から多くの観光客が訪れるペトラでは、依然として様々な課題を抱えている。当事業では、現在、複数のパイロット・プロジェクトの実施・効果検証を行い、来年度に観光の持続的発展に資するマスタープラン案の最終化を計画している。当該地域における強靭かつ持続可能な観光開発事業の促進に寄与するため、これからも事業を推進していく。



地域コミュニティによるウィークリーマーケットの開催（パイロット・プロジェクト）

- ①ペトラにおける観光開発マスタープラン策定プロジェクト
- ②「WE ARE PETRA」Facebookページ
- ③ペトラ博物館建設計画
- ④コミュニティ重視型のペトラ地域観光開発プロジェクト

